

城 趾

「城趾が丘の旭光」と校歌にも歌われる「横内城」

「日本一美味しい水」といわれる清流・横内川

そんな「清流と古城の里」にある横内中学校は、
未来に羽ばたく横中生を応援します！

文責；教頭

夢を叶える4つの「C」

～1月17日 3学期始業式 校長式辞より～

1年のまとめの学期である3学期が始まります。冬休み中、大きな事故もなく、皆さんが元気に登校してくる様子を見て、嬉しく思いました。

さて、3学期は、その年度の「まとめの学期」であると同時に、1年のスタートでもあります。1年のスタートに当たって、みなさんは、2022年、寅年を、どんな1年にしたいですか。私は皆さんに、この寅年を「夢に向かっての一步」を踏み出す1年にしたいと思っています。

皆さんは、今から紹介する言葉が誰のものか想像できますか。「夢を求め続ける勇氣さえあれば、全ての夢は必ず実現できる。いつだって忘れないで欲しい。すべては一匹のネズミから始まったということ。」さて、誰の言葉でしょうか。・・・そう、ミッキーマウスの生みの親、ウォルト・ディズニーの言葉です。彼が生み出した一匹の小さなネズミが、アメリカで最も愛されるキャラクターになり、今では、世界中で愛されています。また、ミッキーが主人公のディズニーランドも、世界中に建てられ、多くの人々が「夢の国」を楽しんでいます。そんなウォルトは、夢を叶えるための秘訣も教えてくれています。「夢を叶える秘訣は、4つの「C」に集約される。それは「Curiosity（好奇心）」「Confidence（自信）」「Courage（勇氣）」そして「Constancy（継続）」である」ということです。

最初のCである「好奇心」は、「なぜ？」から始まります。勉強も遊びも、上達の源は「なぜ」です。もっと勉強ができるようになりたい、もっと野球が上手になりたいという強い気持ちから、どうすれば勉強ができるようになるか、どうすれば野球が上手になるか考えるようになり、壁にぶつかったら「なぜ」だろうと考え、解決していくことが大切です。

2つめのC・「自信」ですが、これは自分の力を信じることです。これは、「できるかできないか」ではなく「やるかやらないか」の問題に近いのではないかと思います。「自分ならできる」と思いながらも、「どうすればできるか」をしっかり考え、見通しを持って「やる」ことが大切なのだと思います。

3つめのC・「勇氣」については、とかく人間は安定を求めがちです。しかし、向上するためには変化が必要になります。その変化を受け入れる勇氣があるかどうかで、夢の実現は大きく左右されます。夢を実現させるために、必要なものを取り入れ、妨げになるものは省いていく、そして、困難なことがあっても、勇氣を持って乗り越える、そういう意味の「勇氣」が必要だということです。

最後のCは「継続」です。これが一番難しいかも知れませんが、「好奇心」を持ち続けること、「自信」を持ち続けること、「勇氣」を持ち続けることすべてが、なかなか難しいことです。人は、困難にぶち当たると、投げ出したくなったり、諦めなくなったりすることがあります。しかし、「継続は力なり」という言葉があるように、継続することで実力が積み重なり、困難を乗り越えるだけの力が備わっているようになります。ですから、どんなに挫けようとも、最後まで続けることが大切だと思うのです。また、挫けそうになったら、「夢」に立ち返ることも必要です。夢は「理想の自分」「なりたいたい自分」の姿です。ですから、夢に立ち返ることで、今一度、困難を乗り越えようという気がよみがえってくると思います。

3年生の皆さんは、今一生懸命頑張っている受験勉強が「夢」の実現につながります。今が苦しいときはと思いますが、夢の実現のため、自分に自信を持って、努力を継続して欲しいと思います。1、2年生の皆さんは、今年にかける思いがそれぞれあると思います。テストで何点とりたいとか、テニスで優勝したいとか、英検や漢検で何級合格したいとか、様々な目標があると思います。また、将来、保育士になりたいとか、学校の先生になりたいなどの夢があると思います。それらに少しでも近づくために、今お話しした「4つのC」を大切にしてください。

夢や目標に向かって努力する、途中で困難なことがあっても諦めず、「4つのC」を大切にしながら頑張り続ける1年にしてほしいと思っています。2022年の皆さんの頑張りを期待して、お話を終わります。



★「3学期の抱負」★ 全校生徒を代表して、1年2組 里村虹架さんの作文（一部抜粋）を紹介します。

3学期の抱負は3つあります。まず1つ目は、勉強を頑張ることです。春から2年生になり、さらに勉強が難しくなると思います。だから、3学期のうちに1年生の学習の振り返りをして、1年生の分をしっかりと身に付けておきたいです。

2つ目は、テニスで強くなることです。春に大会があり、そこで私たちは初めて団体戦に出場します。学年の目標は団体優勝をすることです。そのために、部活動や自主練で教え合ったり、できないところを何度も繰り返し練習したり、毎日の筋トレを忘れずにやったりと、たくさん努力していきたいです。

そして、3つ目は、卒業する先輩やクラス替えで離ればなれになる友だちにしっかりと感謝の気持ちを伝えることです。特に、先輩たちとは春から会えなくなるので、今から感謝の気持ちを伝えていきたいです。

この3つを頑張る3学期にして、2年生になってから後悔しないように、今を大事にしていきたいです。

★大会・コンクール成績★ 入賞おめでとう！！

- ◎密猟防止ポスターコンクール 金賞 船木 栞 (2-2)
- ◎明るい選挙啓発ポスターコンクール 準入選 大村 佳永 (2-2)
- ◎第35回青森県中学校選抜美術展 特選 船木 栞 (2-2)
- 入選 小野沙亜羅 (2-1)

- ◎第72回青森県中学校体育大会冬季スキー競技大会
 - 女子ジャイアントスラローム 第2位 工藤 七菜 (2-1)
 - 女子スラローム 第3位 工藤 七菜 (2-1)
 - 男子スラローム 第10位 今 嵩嘉 (1-2)



＜船木栞さんの作品(県美)＞

【講評】見慣れた雲谷の風景に蝶やウサギをプラスして独自の世界を作りあげました。繊細なタッチと三原色で作った鮮やかな色彩がとても美しいです。(審査員)

★「JOCバレーボール大会に出場して」★ 3-1 鎌田寛太さんの作文を紹介します。



僕は、JOC本大会を終えて、二つのことを思っています。一つ目は、感謝です。金銭面、精神面ともにサポートをしてくれた両親、今まで熱心に指導して下さった先生方、そして練習のときも、移動のときも、楽しく、優しく接してくれた11人の選抜メンバーに、心から感謝しています。皆さんがいたからこそ、僕は全国という舞台に立つことができましたし、色々な面で成長することができました。

二つ目は、悔いです。青森選抜チームの目標も、自分自身の目標も達成することができませんでした。例年と比べて練習期間が短かったのに、集中してできなかったときもありました。プレーだけでなく、体調面での自己管理もまだまだ甘いことを、改めて自覚することができました。このJOCの大会は、僕にとってとても貴重で、さまざまな面で勉強になるものでした。これから高校に進学し、大人になり、社会に出てからも、この経験を活かしていこうと思います。両親、先生方、チームメイトがいてくれてとても心強かったし、安心してバレーに夢中になり、そして貪欲に取り組むことができました。これまで関わってくださった皆さん、本当にありがとうございました。(※寛太さん、本当にお疲れ様でした！！)

【2月の主な行事予定】 *いよいよ受験の時期となりました。3年生のみなさん、頑張ってください！！

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 2日(水) 新入生入学説明会(午前4時間授業) | 16日(水) 私立高校合格発表 |
| 4日(金) 3年一斉テスト・漢字検定 | 18日(金) 3年保護者集会(参集型は中止) |
| 8日(火) 私立受験事前指導(3年5時間授業) | 22日(火) テスト前部活動中止～24日 |
| 9日(水) 私立高校一般入試 | 25日(金) 全校一斉テスト |
| | 28日(月) 口座振替日 |

保護者の皆様へ

豪雪や新型コロナウイルス感染防止対策等で緊急のメールを配信することがたびたびありましたが、ご対応ありがとうございました。今後もさまざまな変更等が考えられますので、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。